



## 原発事故の もとで成長する 子どもの権利を 考えよう

Copyright(C)2010 paylessimages,Inc.All Right Reserved.

■時 間: 18:30~21:00 (18:00開場予定)

■ゲスト:

吉野裕之さん (子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク)

荒木田岳さん (福島大学行政政策学類・准教授、福島大学・放射線副読本研究会メンバー)

大河内秀人さん (SJF、江戸川子どもおんぶず、原子力行政を問い直す宗教者の会)

■概 要:

原発事故以来、特に福島県の地域コミュニティでは簡単には片付けられない問題が起こっています。その一つが、「子どもの生活」をどのように考えるのかということです。

放射能被害を避けるために汚染地域から離れるべきだという意見や、被ばく量を最小限度に抑えた上で地域に留まらざるを得ないという意見などがあり、その内容も、親、地域コミュニティ、地域外の市民、行政など、立ち位置や価値観により様々です。

今回は、事情で避難できない大勢の子どもの疎開や一時避難の手助けをしている吉野裕之さんと、2011年10月に文部科学省が作成した放射線副読本の課題を指摘し、この問題を分かりやすく提示した「放射線と被ばくの問題を考えるための副読本」作者の一人である荒木田岳さんをお迎えします。

「原発事故下で成長せざるを得ない、子どもたちの権利」をテーマに、私たちの出来ることは何なのか、参加者の皆さんも交えて議論します。ぜひご参加ください。

■場 所:

新宿ASKビル4階会議室 (新宿区歌舞伎町2-19-13) <http://g.co/maps/g766h>

大江戸線・副都心線 東新宿駅 徒歩5分

■資料代:

800円 少人数の会(30名限定)になりますので、ご関心のある方はお早目のお申し込みをお願いいたします。

■お申し込み: <http://socialjustice.jp/201209.html>

または TEL:03-5941-7948 FAX:03-3200-9250

お名前、ご所属、お電話、電子メールアドレスをお伝えください。

■お問合せ & お申込先:

ソーシャル・ジャスティス基金(認定NPOまちぽっと)

メール: [okuda@machi-pot.org](mailto:okuda@machi-pot.org) 担当: 奥田

〒160-0021 新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル5F

